

2-6

従来型施設でできるユニット的ケア

～みんなの笑顔が見たいから～

意識改革

ユニットケア

特別養護老人ホーム 菊かおる園

松本 謙一 (介護職)	吉田 江利 (介護職)
東京都豊島区西巣鴨 2-30-19	
TEL : 03-3576-2266	E-mail : kiku@toshimaj.or.jp
FAX : 03-3576-2264	URL : http://toshimaj.or.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	豊島区社会福祉事業団として平成 17 年度より自主運営になる。旧中仙道沿いに立地され、近くにはとげぬき地蔵尊がある。特別養護老人ホーム(90 床)、ショートステイ(10 床)、ケアハウス(30 部屋)、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターが併設されている。
----------------------------	--

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ol style="list-style-type: none">① 利用者・御家族・職員と一緒に楽しむことができる活動の実施② 個々の身体状況・希望に沿ったケア③ 環境整備・景観に対する職員の意識向上④ 余暇時間の活用 <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ol style="list-style-type: none">① エットーダ-会議の開催② ハート面の検討<ul style="list-style-type: none">・ 交流の持てる座席配置・ 皆が明るくなる環境整備③ 各ユニット活動の写真の掲示④ 廊下の壁・窓・居室に季節感が出るよう飾り付けを行う⑤ 45名の利用者を3つのエットに分けている⑥ 各エットのケア-を固定し利用者の再ア-をより細かく行い情報を共有した⑦ エットを活用し、利用者のニーズを早期に解決できるようにした⑧ 利用者に合わせた生活リズムでの援助⑨ エットでの作品作り	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ol style="list-style-type: none">① ゆとりができたことにより、利用者主体という視点が培われてきた② 他利用者との交流を好まない利用者の参加に繋がった③ ケア-は以前に比べ家族とのコミュニケーションを積極的に取る者が増え、利用者のニーズをより把握できるようになった④ 環境整備の徹底により、清潔感が出た。又、利用者・職員の表情も明るくなった⑤ 事故(転倒・転落等)の減少にも繋がり、身体拘束の軽減にも繋がった⑥ 再ア-により、利用者の生活の幅が広がった <p>〈今後の課題〉</p> <ol style="list-style-type: none">① 利用者主体という視点が定着しつつあるので更なるケア-のレベルアップを図る② 利用者の生活の更なる質の向上に努める③ 環境整備に対する意識継続
---	--

【メモ欄】
